

令和6年度  
(第32期)

# 事業報告書

自 令和 6 年 4 月 1 日  
至 令和 7 年 3 月 31 日



公益財団法人 とかち財団



## 令和6年度事業報告書 目次

1 概況	-----	1
2 ものづくり支援事業【公益目的事業1】		
（1）試験研究	-----	2
（2）技術支援		
①技術指導・企業相談・講師派遣	-----	7
②検査分析	-----	9
③技術講習・研修	-----	10
④外部資金を活用した技術支援	-----	12
（3）成果普及・地域PR		
①十勝ブランドの推進	-----	12
②情報発信・PR （展示会出展、技術支援成果普及等）	-----	15
（4）施設の管理運営		
①北海道立十勝圏地域食品加工技術センター	-----	20
②十勝産業振興センター	-----	20
3 事業創発支援事業【公益目的事業2】		
（1）事業化の加速支援		
①事業相談対応・講師派遣	-----	22
②共創型支援による連携イベント等	-----	23
③LANDサークル（学生コミュニティ）等	-----	31
④LANDSCAPE（事業者情報発信）	-----	34
（2）補助金・奨学金の給付		
①とちビジネスチャレンジ補助金	-----	35
②令和5年度補助金事業報告会等	-----	36
③学生起業家育成奨学金（LAND奨学金）	-----	36
（3）施設の管理運営		
十勝事業創発支援センター「LAND」	-----	38

4	収益事業	-----	4 0
5	関係機関との連携・協力		
	(1) 帯広畜産大学との連携協定締結	-----	4 0
	(2) 中小機構北海道本部等との業務協力協定締結	-----	4 1
	(3) 関係機関等が主催する会議等への参画・協力等	-----	4 1
6	管理運営事項		
	(1) 理事会	-----	4 3
	(2) 評議員会	-----	4 4
	(3) 行政特別委員会	-----	4 4
	(4) 資産運用委員会	-----	4 4
<参考>	令和6年度末日時点の組織体制・役職員の状況	-----	4 5

### 【とがち財団ホームページ】



<https://www.tokachi-zaidan.jp/index.php>



## 1 概況

十勝地域においては、産学官金の緊密な連携により、基幹産業である農林漁業を核とする地方創生の推進に向けた積極的な取り組みが進められている。

このような背景の下、地域の産業活性化への貢献を目標に掲げている当財団には、十勝の未来につなぐ「価値」の創出と向上を図るため、令和4年度からの5ヶ年で実施している「第3期産業活性化ビジョン」の取り組みを着実に進め、その成果を一層広げていくことが求められている。

第3期ビジョンでは、地域事業者の自律的な成長と事業展開を丁寧かつ緻密に支援することを実現戦略に掲げた上で、以下の3つの重点事項に基づき事業展開・組織運営を実施することとしている。

- ①ものづくり産業の競争力・生産性の向上（公1：ものづくり支援事業）
- ②事業創発の持続性の確立（公2：事業創発支援事業）
- ③組織運営の最適化

ビジョンの3年目（中間）にあたる令和6年度は、2つの公益目的事業を軸に、当財団が現在保有するリソース（拠点3施設、産業支援の経験・ノウハウ、人的ネットワーク等）を十分に活用した上で、関係機関との連携・協力を図りながら、効果的・効率的な事業展開・組織運営を図った。

ものづくり支援事業では、食品技術分野の試験研究として、十勝地域から採取された有用微生物を利用した乳製品の開発等に取り組み、新商品開発や地域資源の有効活用等を支援した。また、情報技術分野の試験研究として、クラウドとビッグデータを活用したデータ駆動型農業の提案等に取り組み、生産現場の課題解決に資する装置・機械開発を支援した。あわせて、両分野の技術支援として、技術指導・企業相談への対応、検査分析・機器利用依頼の受入れ、技術講習・研修の開催等に取り組んだ。

さらに、成果普及・地域PRの取り組みとして、十勝ブランド推進の一環として登録制度を運営するほか、インターネットの活用や展示会への出展等により、試験研究等の成果や地域発の技術・商品に関する情報を積極的に発信・PRした。

事業創発支援事業では、事業化の加速支援（トカチコネクション）の一環として、事業相談への対応や、ビジネスカンファレンス「KA I KON」の開催等によるビジネスコミュニティの形成促進に取り組み、多彩な創業・起業・事業創発の機会を創出することで、事業拡大や課題解決に結び付け、事業創発の持続性の確立を図った。

また、地域の意欲的な事業者が実施する新たなチャレンジに対し「とがちビジネスチャレンジ補助金」を給付した。

あわせて、若年層のビジネス人材育成の一環として、十勝の地域資源を活用した事業で起業を目指す学生に対する「学生起業家育成奨学金」の給付や、ビジネススキル・アントレプレナーシップの習得を図ることを目的とする学生コミュニティ「LANDサークル」の運営に取り組むとともに、その成果を十勝発学生ビジネスイベント「TOMOSHIBI」にて報告した。

組織運営の最適化に関しては、戦略的人事マネジメントの一環として、人材育成・能力活用の促進を図るため、経営企画・組織力強化を担当する戦略調整室が中心となり、職員評価育成制度の改正に係る検討を継続したほか、ハラスメント防止措置や職員の副業に係る取扱いを整備した。

以上の取り組みを通じ、十勝の持続的な経済成長に寄与するプラットフォームとして、地域の産業活性化に持続的に貢献した。

## 2 ものづくり支援事業 【公益目的事業1】

### (1) 試験研究

食品技術分野及び情報技術分野の技術的課題の解決や新製品開発等を促進するため、地域連携を図り、必要に応じて外部資金事業を活用する形で、地域ニーズに対応したテーマに関する実用的な研究開発を実施した。また、その成果を地域へ積極的に発信することで、成果の浸透・定着及び利活用促進を図り、企業等による新事業創出等を推進した。

これにより、地域のものづくり技術力を強化し、質の高い価値創出・向上の促進を図った。

#### <食品技術分野>

表1 (共同研究等のテーマ一覧)

テーマ	
1	<p>十勝地域から採取された有用微生物を利用した乳製品の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目的：地域オリジナル乳製品の開発、地域中小事業者支援</li> <li>・ 共同研究者：株式会社明治</li> <li>・ 内容：十勝の自然界からチーズの熟成に有用な微生物を探索するためサンプル採取を行った。特定の培養条件をもとにスクリーニングを行い、選抜した菌株の遺伝子解析結果から数十株がチーズの熟成に使用実績がある菌種と同定された。それらの株について、チーズ熟成に関与する酵素活性を調べ、特徴のある有望株を選抜した。今後の実用化に向け、令和7年度に安全性試験の内容を検討する予定としている。</li> </ul>
2	<p>十勝産ゆり根の規格外品を用いた加工品の開発および品質PRに関わる検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目的：規格外品を用いた商品開発、ゆり根の外観品質の評価法の検証</li> <li>・ 協力事業者：忠類農業協同組合（JA 忠類）、忠類ゆり根耕作組合</li> <li>・ 内容：ゆり根規格外品を用いた「ゆり根バター」の開発について、レトルト条件および数種の品質改良剤を用いて変色抑制効果を検討した。最も改善効果が得られた条件を選定し、製造委託先に技術移転を行った。品質に関わる検討では、画像解析ソフトで計測したゆり根表面の変色部分の割合と、目視での外観の評価を比較し、目視評価による妥当性を確認できた。品質の確保に係る具体的データが得られたことにより、忠類産ゆり根における地元耕作組合の今後のPRに活用できるものと考えられる。</li> </ul>
3	<p>乳酸発酵食品の美味しさの科学</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目的：地域オリジナル乳酸菌の漬物への応用</li> <li>・ 内容：チーズ製造に有用な <i>Lb. paracasei</i> OUT0010 は漬物製造にも有用な可能性が考えられ、漬物製造適性を調べた。その結果、当該菌株は耐塩性、アルコール耐性が高く、漬物に適性があることが確認できた。また、浅漬けに使用すると遊離アミノ酸を比較的多く生成し、適度な酸味を持ち、雑味と塩カドが少ない漬物が得られた。さらに、凍結乾燥粉末を用いることで手軽に効果を再現できることを確認した。地域オリジナル乳酸菌として、将来的にチーズだけでなく漬物でも活用されることが期待される。</li> </ul>
4	<p>十勝産食材を用いた出汁素材の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目的：低利用水産資源であるキュウリウオを用いた出汁素材の開発</li> <li>・ 内容：出汁素材として利活用の可能性がある素材を選別するため、地域内の事業者にはアリングを行った。その結果、シシャモ漁の雑魚として捕獲されるキュウリウオを用いた出汁素材の開発を検討することとした。キュウリウオで煮干しを試作し、市販のカタクチイワシを原料とする煮干しと比較したところ、イノシン酸含量は低かったがグルタミン酸含量は高い傾向にあった。得られた出汁は色調が薄く、苦味が弱い特徴があった。得られた知見をもとにプラントテストを行っており、今後の実用化を目指しフォロー試験を継続する予定である。</li> </ul>

表 2（活用した助成金の一覧）

助成事業者	事業名及び内容
公益財団法人 全国競馬・ 畜産振興会	畜産振興事業助成金  「国産チーズ・ブランド化事業」（令和 6～7 年度） （日本獣医生命科学大学[中核機関]及び当財団を 共同実施主体とするコンソーシアムにより実施）  ・内容：地場産乳酸菌スターターの利用拡大を図るため、チーズ以外の乳製品と して発酵バターへの活用を検討した。また、チーズ工房への技術普及を 継続し、OUT0010 スターターを使用したチーズが道内 4 工房から 9 アイ テム（うち十勝地域では 2 工房 5 アイテム）が商品化された。

表 3（受託事業の内容一覧）

委託者	事業名及び内容
学校法人 名古屋電気学園 （愛知工業大学）	<p>「紫色色素の分析を基盤とした加工特性を向上させた小豆の育種を目指す 開発試験」（令和 4～6 年度）</p> <p>・内容：加糖餡分析のための前処理法を確立し、「小豆餡の 製造方法」（特許登録 7406770）の製法が、市販の 小豆餡と比較して色調が優れていることを確認し た。また、道総研十勝農業試験場より提供された品 種別小豆を用いて餡サンプルを調製し、品種によ る傾向について報告を作成した。 あわせて、学会や展示会等で技術普及を行った。 今後も継続して技術普及に取り組み、十勝産小豆 の品質の良さと和菓子の消費拡大に向けたPRに繋 げる予定としている。</p> 

**色調が優れた小豆餡の製造技術**  
Manufacturing technology for red bean paste with  
excellent color tone  
公益財団法人とかち財団  
[北海道立十勝圏地域食品加工技術センター]

**藤紫色の餡の製造方法**

**背景**  
北海道十勝地域は小豆の一大産地として知られている。小豆の主な用途は餡であるが、良い原料を丁寧に加工した餡の色調は紫色がかっていると言われ、従来高級な餡の指標とされてきた。近年、名古屋大学で小豆に含まれる紫色色素の構造と特性が解明されており、その知見をもとに新たに小豆の紫色を活かした生餡の製法を検討した。

**方法**  
(1) 製法の原理  
・小豆種皮に褐色化しやすいカテキン系を主とする化合物が多く含まれる。（加熱、酸素の存在で褐色化が促進）  
・小豆種皮に水に溶けにくい紫色色素が含まれる。（熱水で溶出し、餡に吸着）  
・加熱前にカテキンを主とする水溶性色素を流出させ、酸素を除いた状態で炊き上げると餡が紫色に着色する。

(2) 製餡工程と評価指標  
本試験で開発した製餡法（図 1）は、小豆を常温で一晩水漬すること基本とし、紫色色素の酸化を防ぐために加熱前に一度脱気することを重点要素とした。餡の紫色の強さは、L\*a\*b\*表色系でb\*の数値が低い方向と一致しており、生餡の紫色の目標とする範囲はb\*値：2.0以下、糖度50%以上の加糖餡ではb\*値：1.0以下と設定した。また、小豆約20kgを原料とし、実製造においても同様の色調の餡が得られるか検証した。

**結果**  
開発した製餡法および既存の製法（直炊き、開放系釜で煮沸）で調製した生餡の色調を比較したところ、開発した製法では紫色を特徴とする餡が得られた（図 2）。紫色色素は加熱工程で溶出し、90℃以上の高温で餡に吸着することを観察した。また、プラントテストでの再現性を確認した（表 1）。

**図 1** 開発した製餡法

**図 2** 生餡の色調

**表 1** プラントテストで得られた餡の色

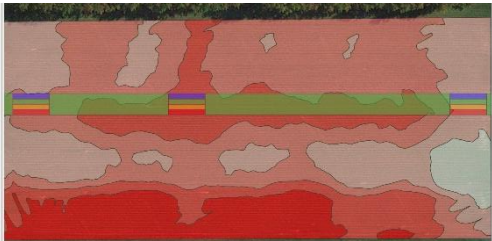
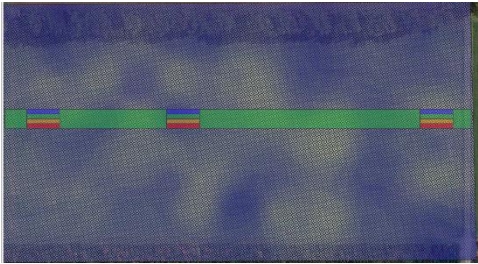
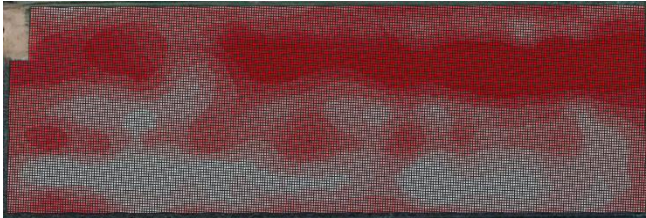
	L*	a*	b*
生餡	43.0	7.6	0.75
加糖餡	22.4	8.0	-1.24

**展開**  
本試験の成果を活用していただくことで、外観色調が優れた高貴な餡として小豆の付加価値向上を図り、日本に伝わる和菓子文化のPRと食産業の推進につなげたい。

令和 6 年 6 月 4～7 日  
「FOOMA JAPAN 2024 アカデミックプラザ」にてポスター発表  
（参考：展示会出展社数：989 社、来場者数：113,777 名）

<情報技術分野>

表 4 (共同研究等のテーマ一覧)

テーマ	
スマート 農業領域	<p>1. クラウドとビッグデータを活用したデータ駆動型農業の提案</p> <p>【馬鈴薯の精密農業実証（可変制御技術）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的：可変制御技術（可変播種、可変施肥）による収量の安定化／均一化</li> <li>・協力事業者：カルビーポテト株式会社、十勝農機株式会社、サンエイ工業株式会社、藤内農場（大樹町）、しれとこ斜里馬鈴薯生産組合、BASF ジャパン株式会社</li> <li>・内容：土壌診断による地力マップの作成、商用の地力マップの調査を実施し、令和 7 年度に実施する可変播種試験の計画を立案した。</li> </ul>  <p>図. 令和 7 年度春 大樹町で実施予定の可変播種試験計画 最背面：BASF ジャパン提供の地力マップ(衛星データ) 試験区：赤 24cm、黄 27cm、緑 30cm、青 33cm</p>  <p>図. 土壌分析ベース 地力マップ</p> <p>2. ISOBUS 対応 ECU と作業機を活用した精密農業の実証（表 5：「北海道」参照）</p> <p>3. 農業生産性向上に資する可変農作業制御デバイス及びデータ駆動型農業インターフェースの構築（表 5：「経済産業省」参照）</p>
スマート ビジョン 領域	<p>1. クラウド、AI、画像処理技術を活用したデータマイニング手法の開発</p> <p>【馬鈴薯の精密農業実証（収量モニタ）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的：馬鈴薯の収量に基づき収量マップ作成する。</li> <li>・連携事業者：カルビーポテト株式会社、サンエイ工業株式会社</li> <li>・内容：画像処理技術と GNSS から得られる位置情報を連携して、圃場の収量と地力の関係を可視化し、収量予測モデルを構築した。</li> </ul>  <p>図. 土壌分析ベース マップ</p>



<p>スマート ビジョン 領域</p>	<div data-bbox="577 241 1225 454" data-label="Figure"> </div> <p>図. 収量マップ(塊茎の平均の大きさ)</p> <p>2. 豆類検査方法の省力化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目的：評価判定作業効率化</li> <li>・ 協力事業者：帯広市川西農業協同組合</li> <li>・ 内容：令和3～5年度に豆類振興事業の助成金で開発した試作機で2024年度産の小豆の評価を実施し、2025年秋の実践配備に向けた課題を検討した。</li> </ul>
-----------------------------	--

表5（共同研究等のテーマ及び活用した外部資金の一覧）

資金配分機関	事業名・テーマ名
北海道	<p>地域企業の先端技術人材確保・育成等支援事業（補助金）</p> <p>「ISOBUS 対応 ECU と作業機を活用した精密農業の実証」（令和4～6年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目的：農作業の機械化及び効率化</li> <li>・ 協力事業者：十勝農機株式会社</li> <li>・ 内容：ISOBUS 対応 ECU および電動・電子制御システムを市販の機械式ポテトプランタに組み込んだ試作機（写真）に、可変播種などの精密農業対応機能を実装した。さらに、屋外使用を想定し、対候性を高めるための構造的な改良も加えた。本機を用いて実際の圃場で可変播種試験を行い、設定した播種間隔に応じて安定的に種芋を配置できることを確認した。試験を通じて得られた知見をもとに、現場での運用上の課題に対する具体的な改良も実施し、精度・信頼性の向上を実現した。</li> </ul> <div data-bbox="879 1111 1350 1375" data-label="Image"> </div>
経済産業省	<p>成長型中小企業等研究開発支援事業（補助金）</p> <p>「農業生産性向上に資する可変農作業制御デバイス及びデータ駆動型農業インターフェースの構築」（令和4～6年度）</p> <p>（株式会社農業情報設計社（中核機関）・当財団・ノーステック財団を共同実施主体とするコンソーシアムにより実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目的：農業生産性向上</li> <li>・ 内容：農業情報設計社が開発するデバイスに対し、ISOBUS 予備認証試験サービスを提供した（写真）。ISOBUS は国際団体 AEF により管理されており、農業機械における事実上の国際標準規格である。本試験により、当該デバイスがISOBUSの基本通信機能を有していることを確認するとともに、規格に適合していない箇所を特定し、ソフトウェア修正に必要な技術情報を提供した。</li> </ul> <div data-bbox="879 1706 1350 1982" data-label="Image"> </div>

表 6 (ISOBUS 普及推進会の運営支援・スマート農業研究会の設置)

区分	内容
目的等	十勝の主要産業の一翼を担う農業機械産業を中心に、ISOBUS に対応した農業機械の普及を促進するために設立された産学官連携体「ISOBUS 普及推進会」について、試験研究の一環として、当財団が事務局を担う形でその運営を支援している。
設立年月日 事業年度	平成 30 年 8 月 9 日／毎年 8 月 1 日から 7 月 31 日まで
構成メンバー	役員：3 名（会長・最高顧問・監事） 支援機関：6 機関（大学等） アドバイザー：7 名（会長が指名した適任者） 後援団体：7 機関（行政機関ならびに関連団体） 会員：合計 35 名（十勝及び道内に拠点を有する作業機メーカー等） ＜内訳＞ 正会員 33、賛助会員 2（法人・団体及び個人）
主な活動実績	<p>令和 5 年度 スマート農業情報提供としての動画公開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和 6 年 6 月 26 日 「距離がわかる深度カメラ『Intel RealSense Depth Camera D455』を紹介」</li> <li>・ 令和 6 年 7 月 18 日 「精密農業とは」「土壌分析手法」</li> <li>・ 令和 6 年 7 月 31 日 「AEF Information Day 2024 in Tokyo」</li> <li>・ 令和 6 年 8 月 13 日 「ISOBUS 普及推進会 2023 年度事業報告」</li> <li>・ 令和 6 年 9 月 26 日 「肥沃度マップの作成 1～3」</li> </ul> <p>-----</p> <p>令和 6 年 8 月 9 日 令和 6 年度定期総会</p> 
<p>推進会の解散 ↓ 研究会の設置</p>	<p>推進会では、その設立から技術者人材育成・情報提供等の活動を通じて ISOBUS 普及を推進してきた。一方で、令和 5 年に開催された「第 35 回国際農業機械展 in 帯広 2023」では、複数の出展者が農業機械の ISOBUS 対応機種を展示しており、設立当時と比較して ISOBUS への対応が定着している。</p> <p>こうした状況を踏まえ、当会の普及推進の目的を一定程度達成したと判断し、推進会を解散することを決定した。最終の事業年度となる本年は解散に係る清算手続きを行い、令和 6 年 12 月をもって解散した。</p> <p>この発展的解散に伴い、当財団の事業活動の一環として令和 6 年 12 月に「スマート農業研究会」を設置し、デジタルコンテンツの提供を継続する。</p>  <p>https://www.ag.tokachi-foundation.com</p>

## (2) 技術支援

### ①技術指導・企業相談・講師派遣

企業等による技術的課題の解決や新製品開発等の促進を図るため、研究員が技術相談に対応するとともに、必要に応じて研究員を生産現場等に派遣し、直接的な指導及び助言を実施した。

これにより、地域ニーズ・企業ニーズを的確に把握し、研究開発・技術支援の効果的な展開を図るとともに、利用企業や関係機関等との連携を強化した。

表 7 (技術相談件数) [現地技術指導を含む]

年度	相談件数	相談内訳	
		食品技術	情報技術
R6	837	604	233
R5	829	574	255
R4	872	621	251

表 8 (市町村別相談件数)

帯広	音更	士幌	上士幌	鹿追	新得	清水	芽室	中札内	更別
282	37	4	13	0	42	15	101	20	8
大樹	広尾	幕別	池田	豊頃	本別	足寄	陸別	浦幌	十勝以外
3	17	56	7	2	17	8	16	2	187

表 9 (市町村別相談事業者数)

帯広	音更	士幌	上士幌	鹿追	新得	清水	芽室	中札内	更別
97	17	4	7	0	7	7	23	5	4
大樹	広尾	幕別	池田	豊頃	本別	足寄	陸別	浦幌	十勝以外
2	6	17	4	2	3	3	3	2	111

表 10 (講師・アドバイザー派遣実績)

#### <食品技術分野>

区分	派遣日等	事業・セミナー	派遣地	派遣職員
講師派遣	R6. 4. 10	「6次産業化実践論」 北海道立農業大学校 講義	本別町	水谷 香子
講師派遣	R6. 4. 15 ～R6. 4. 22	JICA 研修 2023 年度 (課題別) 「畜産物 (乳・肉・卵) の安全・衛生・品質管理技術強化」 コース 「畜産食品の成分分析 I, II, III」「畜産食品の微生物検査 I, II, III」	帯広市	川原 美香 水谷 香子 高谷 政宏 横山真由子
講師派遣	R6. 5. 24	「とち財団の知財活用事例について」 日本弁護士連合会、弁護士知財ネット	帯広市	葛西 大介

講師派遣	R6. 7. 11	「農畜産加工・起業概論」 北海道立農業大学校 講義	本別町	水谷 香子
講師派遣	R6. 10. 16 ～R6. 10. 17	JICA 研修 2024 年度（マレーシア国別）「食品の品質・衛生管理強化を通じた地域産業開発」コース 「とち財団の取組み」「地域向けの衛生管理支援」「食品の賞味期限について」	帯広市	川原 美香 水谷 香子
講師派遣	R6. 10. 22	「工房における衛生管理指導事例紹介」 帯広畜産大学 チーズ製造学 第 1 回短期研修会	帯広市	川原 美香
講師派遣	R6. 11. 11 R6. 11. 13	研修会「微生物検査について」 味の素株式会社	帯広市	水谷 香子 横山真由子
講師派遣	R6. 11. 25	JICA ウズベキスタン国別研修 2024 年度「クラスターアプローチによる産業クラスターの促進」コース 「十勝地域の産業振興～食品加工技術センターの取組」	帯広市	葛西 大介
講師派遣	R6. 11. 27	バニラ栽培プロジェクト中間報告会 「バニラビーンズのキュアリングについて」 十勝バニラ栽培プロジェクト	帯広市	水谷 香子
講師派遣	R6. 11. 29	JICA ラオス青年研修 2024 年度「地方行政・地域開発（地方行政）」コース 「とち財団の活動紹介」	帯広市	葛西 大介
講師派遣	R7. 1. 14	2024 年度 産業技術連携推進会議 北海道地域部会 合同分科会 産業技術連携推進会議北海道地域部会、(国研) 産業技術総合研究所北海道センター	札幌市	高谷 政宏
講師派遣	R7. 1. 16	新年研修会 忠類ゆり根耕作組合（忠類農業協同組合）	帯広市	水谷 香子

<情報技術分野>

区分	派遣日等	事業・セミナー	派遣地	派遣職員
アドバイザー派遣	R6. 5. 31	十勝農業機械協議会 「北海道型スマート農業を検討する会」	帯広市	葛西 大介 田村 知久 菅原 崇 松原 慎吾
講師派遣	R6. 7. 9	JA つべつ・津別町スマート農業研究会 合同研修会「とち財団の事業紹介」「ISOBUS 規格の概要について」「タスクコントローラ機能を活用した精密農業について」「精密農業実習の実施計画について」「ISOBUS 対応ポテトプランター試作機のご見学」	帯広市	菅原 崇 松原 慎吾 内木 麻美
アドバイザー派遣	R6. 8. 2	北海道十勝総合振興局 「畑作農業のさらなる DX 化の推進に向けた勉強会」	帯広市	菅原 崇
講師派遣	R6. 9. 14	(一社) 電気学会 知覚情報技術委員会 第 29 回知能メカトロニクスワークショップ 2024 「ISOBUS 規格の概要ととち財団の取組み」	帯広市	松原 慎吾
アドバイザー派遣	R6. 10. 8 R6. 12. 26 R7. 3. 18	北海道十勝総合振興局 「畑作農業のさらなる DX 化の推進に向けた実務担当者打合せ」	帯広市	田村 知久 菅原 崇 松原 慎吾

## ②検査分析

企業等の生産・製造活動の側面的支援を図るため、企業等からの依頼により、原材料・試作品・製品の品質評価等に係る試験・検査及び分析、成績書の発行を実施した。

これにより、企業等の課題解決に向けた取組みを促進し、ものづくり技術力の強化を図った。

### <食品技術分野>（食品の成分分析や理化学測定、微生物検査）

表 11（検査分析件数）

年度	検査分析件数	内訳		
		依頼試験	依頼分析	謄本発行
R6	25	22	3	0
R5	31	13	18	0
R4	30	7	23	0

※主な依頼試験項目：一般生菌数、大腸菌群、真菌数（カビ、酵母）等

※主な依頼分析項目：アミノ酸分析、糖度測定 等

### <情報技術分野>（鉄筋やコンクリートの強度試験、パークゴルフ用具等の検定試験）

表 12（検査分析件数）

年度	検査分析件数	内訳		
		引張強度試験	圧縮試験	パークゴルフ用具等
R6	663	128	402	133
R5	402	87	141	174
R4	368	124	84	160

### ③技術講習・研修

ものづくりに関する技術者の育成を図るため、基礎・応用技術や商品開発等の知識習得を目的とした、専門的かつ実践的な技術者養成セミナー・講習会・研究会を実施するとともに、研究員による直接的な指導により技術習得を促進するため、企業等の技術者を研修生として受け入れた。

これにより、十勝の産業を支える技術者の実践的な人材育成を図った。

#### <食品技術分野>

##### [1] 微生物検査に関する実技講習会

地域食品産業の技術力向上・人材育成を支援するため、食品の品質・衛生管理に必要な微生物検査技術の習得を目的とした、少数限定の実技講習会を開催した。(会場：食品加工技術センター)

表 13 (講習会開催実績)

開催日	テーマ・実施内容等	受講者数
R6. 5. 28 R6. 5. 30	「実践、微生物検査の基礎」(初級編：一般生菌数、大腸菌群) 講師：ものづくり支援部 食品技術グループ 研究副主幹 水谷 香子、研究員 横山 真由子	8
R6. 6. 11 R6. 6. 14	「実践、微生物検査の基礎」(中級編：黄色ブドウ球菌、サルモネラ等) 講師：ものづくり支援部 食品技術グループ 研究副主幹 水谷 香子、研究員 菅沼 裕乃	4

##### [2] 官能評価に関する実技講習会

地域食品産業における食品開発・品質評価の技術力向上及び人材育成を目的に、食品を取り扱うにあたって重要な指標となる官能評価の基礎的手法の習得を支援する実技講習会を開催した。(会場：食品加工技術センター)

表 14 (講習会開催実績)

開催日	テーマ・実施内容等	受講者数
R6. 7. 26	「官能評価スキルアップ講習会」(第1回) 講師：ものづくり支援部 食品技術グループ 研究主査 高谷 政宏、研究員 横山 真由子	7
R6. 7. 31	「官能評価スキルアップ講習会」(第2回) 講師：同上	6

##### [3] 十勝圏ナチュラルチーズ品質管理研究会

十勝地域のナチュラルチーズ業界における品質管理体制の強化を図るため、チーズ製造及び品質管理に関する知識の習得をはじめ、情報等の共有や意見交換を目的とする研究会を開催した。(会場：食品加工技術センター)

表 15（研究会開催実績）

開催日	テーマ・実施内容等	出席者数
R6. 8. 22	「チーズの品質および衛生管理に関する基礎知識と簡易検査法」 講師：ものづくり支援部 食品技術グループ 課長 川原 美香、研究員 菅沼 裕乃	10
R7. 2. 26	「工場内の衛生管理～過去の調査や検査結果で見えてきたもの～」 講師：課長 川原 美香	8

## 〔４〕食品の異物事故への対応に関する研修会

地域食品産業の技術力向上・人材育成を支援するため、食品の異物事故への対応に関する研修会を開催した。（会場：食品加工技術センター）

表 16（講習会開催実績）

開催日	テーマ・実施内容等	受講者数
R6. 11. 14	「異物混入事故の初期対応と異物検査の有効活用 ～異物検査で何が証明できるのか～」 講師：イカリ消毒株式会社 異物分析部 科学分析課 中野 かおり 氏	27

## 〔５〕技術研修生の受け入れ

地域食品産業の技術力向上・人材育成を支援するため、企業等からの技術研修生の受け入れ等に取り組み、食品加工技術者の技術習得を促進した。

表 17（研修生受け入れ実績）

受入期間	研修内容	受入人数
R7. 3. 18 R7. 3. 19 R7. 3. 25	分光光度計による比色定量分析法の習得	1

## &lt;情報技術分野&gt;

## 〔１〕オンデマンド型技術セミナー

地域のものづくり産業の技術力向上・人材育成を支援するため、企業ニーズに特化した内容で開催するオンデマンド型の実技講習会を開催した。（会場：十勝産業振興センター）

表 18（セミナー開催実績）

開催期間	テーマ等	受講者数
R6. 12. 24	PLC プログラミング講習会（PLC 開発環境の構築とプログラム入門） 講師：ものづくり支援部 情報技術グループ 課長 田村 知久	1

R6. 12. 27	PLC プログラミング講習会（CODESYS によるプログラム作成実習） 講師：ものづくり支援部 情報技術グループ 課長 田村 知久	1
------------	--	---

#### ④外部資金を活用した技術支援

北海道の「地域企業の先端技術人材確保・育成等支援事業」補助金を活用し、製造業へのデジタル技術の導入・応用を図るための農作業機の実装等のデモンストレーション・技術支援により、地域企業の生産性向上に取り組んだ。

表 19（活用した補助事業）

補助元	事業名
北海道	「地域企業の先端技術人材確保・育成等支援事業」 内容：①デジタル技術の導入・活用デモンストレーション ②スマート農業技術普及に資する情報提供 期間：令和 4～6 年度

#### （３）成果普及・地域 P R

試験研究・技術支援の成果、及びその利活用等により実用化された地域発の商品・技術等について、インターネットの活用や展示会への出展等により、その情報を積極的に発信・P R した。

これにより、事業成果等を効果的・広域的に P R し、成果の利活用を促進するとともに、財団事業に対する認知度・理解度の向上を図った。

##### ①十勝ブランドの推進

特徴ある十勝産加工食品の品質・付加価値を客観的に評価し、その認知度を高めることにより、地域の個性や魅力を象徴する「十勝ブランド」を守り育て、地域産業の活性化に繋げるため、「十勝ブランド登録制度」を実施した。

これにより、さらに質の高い「価値」となり得る十勝ブランドの推進を図るとともに、登録品の効果的な P R や事業者間の連携を促進した。

表 20（十勝ブランド登録制度の概要）

区分	内容
対象	十勝産加工食品
登録基準	(1) 十勝産原料を 51%以上使用した食品であること (2) 次のいずれかを満たしていること Ⅰ．十勝地域で製造されている Ⅱ．十勝の事業者が製造主体である (3) 適正な営業・製造許可を受け、法令を遵守していること





付加価値基準	<p>商品の魅力や付加価値を『バリュー』として認定し、それを★の数で表示 (1個～最大5個)</p> <p>(1) 登録基準 (★1個) I. 登録基準をクリア = ★1個</p> <p>(2) コアバリュー (最大★2個) I. 十勝産原料比率が80%以上の商品(産地証明の提出が必要) = ★1個 II. 唯一無二である または、十勝ならではの価値や特徴がある = ★1個</p> <p>(3) プラスバリュー (最大★2個) コアバリュー以外の魅力・付加価値がある (最大★2個)</p> <p>【例】受賞経験、第三者認証、オーガニック原料、トクホ など</p>
登録方法	登録を希望する事業者が任意で申請し、審査委員会による審査を経て登録
審査	有識者による「十勝ブランド登録審査委員会」が基準に基づいて審査し、全員一致で認められたバリューだけが認定される
登録料	無料(ただし、任意参加のPR事業は参加負担金あり)
登録期間	無期限(ただし、定期的内容確認あり)
登録マーク	 

表 21 (十勝ブランド登録状況)


[令和7年3月末日現在]

事業者数	登録品数	主な種類
49	180	チーズ、乳製品、パン、お菓子、農産加工品、畜産加工品、飲料・酒類、調味料

表 22 (市町村別十勝ブランド登録事業者数)




帯広	音更	士幌	上士幌	鹿追	新得	清水	芽室	中札内	更別
16	3	0	1	1	4	4	4	1	0
大樹	広尾	幕別	池田	豊頃	本別	足寄	陸別	浦幌	—
2	2	3	2	0	4	1	1	0	—

表 23 (十勝ブランド 主な活動状況)

開催日・期間	内容
R6. 7. 13 ～R6. 10. 14	<p>十勝ブランドスタンプラリーの開催 (31店舗)</p> <p>【応募総数】459件 (うち全店制覇：124件)</p> 

R6. 8. 6～	十勝ブランドパンフレットの作成・配付（10,000部）
R6. 8. 31 ～R6. 9. 1	<p>「とかちマルシェ」への参加（3ブース8店舗）</p> 
R6. 10. 24	北海道職員に対するチーズ斡旋販売（8社13点）
R6. 12. 12	十勝ブランド登録制度 第11回登録審査委員会（書面開催）

表 24（ホームページの公開・運営状況）

区分	公開内容
<p>十勝ブランド 登録制度 ホームページ 各種 SNS 【随時更新】</p>	 <p><a href="https://www.tokachi-brand.jp">https://www.tokachi-brand.jp</a> R6. 4. 1～R7. 3. 31 のアクセス数 44,019 回</p>   <p>(左) <a href="https://www.facebook.com/tokachi.brand/">https://www.facebook.com/tokachi.brand/</a> (右) <a href="https://www.instagram.com/tokachibrand/">https://www.instagram.com/tokachibrand/</a></p> <p>&lt;イベント実施告知・登録事業者の店舗営業情報等を随時更新&gt;</p>

## ②情報発信・PR

### 〔1〕展示会・商談会等への出展

試験研究・技術支援成果の利活用等により実用化された地域発の商品・技術等をPRし、その販路拡大を支援するため、首都圏等で開催される展示会・商談会等に出展した。

表 25 (FOODEX JAPAN 2025 (国際食品・飲料展) への出展)

開催期間	開催内容
R7. 3. 11 ～R7. 3. 14	<p>「FOODEX JAPAN 2025 (国際食品・飲料展)」</p> <p>会場：東京ビッグサイト</p> <p>内容：十勝管内食品事業者の販路拡大と十勝地域のPRを目的に、「北海道十勝物産館」の事務局を務め、参加事業者の展示会出展を支援した。</p> <p>全体の出展社数は昨年を大きく上回り、海外からのバイヤーも増加する中で、これに伴う商談も活況であった。複数の商談継続先・成約見込先を得た出展者が多く、今後の成約・販路拡大に繋がることが期待される。</p> <p>十勝からの出展企業数：17社 (うち新規2社・復活1社)</p> <p>全出展社数：2,930社 (国内949社、海外74カ国・1,981社)</p> <p>来場者数：72,151人 (4日間)</p>
	 

### 〔2〕試験研究・技術支援成果の普及・情報発信

ものづくりに関する有用な技術情報を発信するとともに、成果発表会や技術研究会の開催等により、試験研究・技術支援成果の普及に努めた。

これにより、事業成果等を広範囲に拡大させ、より一層の利活用を促進することで、財団事業への認知度・理解度の向上を図った。

#### <食品技術分野>

表 26 (十勝圏地域食品加工技術者の会 開催実績)

開催日	開催内容	開催場所	参加者数
R6. 9. 3	レトルト殺菌機に関する勉強会	上士幌町 食品加工センター	20
R7. 3. 4	アイスクリームの試作・勉強会	中札内村 まちなかキッチンスタジオ	6

表 27 (成果発表会の開催実績)

開催日	開催内容	開催場所	出席者数
R6. 9. 19	<p>「食加技 Presentation Day」</p> <p>【食品分野のものづくり支援・地域連携支援の 広域的発信及びその成果普及のための成果発表会】</p> <p>&lt;発表等&gt;</p> <p>① 食品加工技術センター活用のご案内</p> <p>② 賞味期限設定支援・味覚センサーによる味質評価 事業のご紹介</p> <p>③ LAND を通じた事業創発支援のご紹介</p> <p>④ コーンウイスキープロジェクト～新たな道産ウイ スキー製造への挑戦～（関係機関からの報告）</p> <p>⑤ 牛肺の利用促進のための加工方法の開発</p> <p>⑥ 赤ビーツジュースの高付加価値加工方法の開発</p> <p>⑦ エゾシカ肉および未利用部位を活用した製品の 開発</p> <p>⑧ フレッシュチーズの冷凍障害の解決に向けた試験 および今後の地域支援</p> 	十勝産業 振興センター 大会議室	43

表 28 (十勝エゾ鹿ジビエフォーラム 開催実績)

開催日	開催内容	開催場所	参加者数
R6. 10. 28	<p>講演①「エゾ鹿解体処理についての勉強会」 （枝肉を用いた解体実習）</p> <p>講師：古川建設株式会社 ドリームヒルトムラウシ事業所 所長 高倉 豊 氏</p> <p>講演②「エゾ鹿肉の保存条件における品質への影響 について」</p> <p>講師：ものづくり支援部 食品技術グループ 研究副主幹 水谷 香子</p>	北海道 ホテル (帯広市)	38

表 29 (展示会・発表会等でのPR実績)

開催日	展示会・発表会等の名称及び出展内容	開催場所
R6. 5. 23	<p>(地独) 北海道立総合研究機構 エネルギー・環境・地質研究所成果発表会 ポスター発表「十勝産エゾシカの品質に関する研究」</p>	かでる 2・7 (札幌市)

R6. 6. 4 ～R6. 6. 7	(一社) 日本食品機械工業会 FOOMA JAPAN 2024 アカデミックプラザ ポスター発表「色調が優れた小豆餡の製造技術」	東京ビッグ サイト
R6. 6. 12	(地独) 北海道立総合研究機構 食品加工研究センター 令和6年度研究成果発表会 ポスター発表「色調が優れた小豆餡の製造技術」	ホテル札幌 ガーデンパレス

表 30 (専門誌への寄稿等の実績)

掲載時期	掲載誌等の名称	寄稿テーマ名
R6. 8	『グリーンテクノ情報』 NPO 法人グリーンテクノバンク	「色調が優れた小豆餡の製造技術」
R6. 9 (Vol. 20)	日本食品科学工学会 第 71 回大会 講演要旨集	「色調が優れた小豆餡の製造技術」

表 31 (ホームページの公開・運営状況)

区分	公開内容
食品加工 技術センター 専用ホームページ	 <p><a href="https://www.food-tokachi.com">https://www.food-tokachi.com</a></p> <p>R6. 4. 1～R7. 3. 31 のアクセス数 2, 125 回</p>

## < 情報技術分野 >

表 32 (Web メディア記事の掲載実績)


掲載日	Web メディアの名称	掲載タイトル	アクセス
R6. 7. 29	株式会社マイナビ 「マイナビ農業」	国際規格「ISOBUS」で農業をシフトアップ 北海道・十勝で進むデータ通信の新技術	



表 33（展示会・発表会等でのPR実績）

開催日	展示会・発表会等の名称及び出展内容	開催場所
R6. 10. 10	<p>北海道宇宙サミット 2024 展示「スマート農業研究会で実施する馬鈴薯の反収向上・品質の均一化に関する実証事業」</p>  <p>(※事業創発グループと共同出展)</p>	ベルクラシック 帯広
R6. 12. 19	<p>スマート農業推進フォーラム 2024in 北海道（農水省主催） 展示「精密農業実証事業／スマート農業研究会」</p> 	とかちプラザ (帯広市)

表 34（当財団共催事業「スクラム十勝シンポジウム」での発表・PR実績）

開催日	事業・会議等の名称及びPR内容	開催方法/場所 参加者数
R6. 10. 22	<p>スクラム十勝シンポジウム 2024 ～今後の食料、農業及び農村について～ 発表テーマ：「ISOBUS 普及の次なるステップ ：農業のデジタルシフト」 発表者：ものづくり支援部 情報技術グループ 研究主査 松原 慎吾</p> 	<p>とかちプラザ (ハイブリッド方式)</p> <p>参加人数 合計 125 名</p>

表 35 (ホームページ・YouTube の公開・運営状況)

区分	公開内容
<p>成果品 PR のための 技術開発・製品開発 内容詳解サイト</p> 	 <p><a href="https://www.tokachi-foundation.com">https://www.tokachi-foundation.com</a> R6. 4. 1～R7. 3. 31 のアクセス数 1, 103 回</p>
<p>情報技術グループ YouTube チャンネル 「とかテク ch.」</p> 	 <p><a href="https://www.youtube.com/@TokaTechCh">https://www.youtube.com/@TokaTechCh</a> R6. 4. 1～R7. 3. 31 のアクセス数 1.9 万回</p>

### [ 3 ] 地域連携の促進支援

地域産業の高度化・複合化に欠かせない地域連携・人的ネットワーク構築の促進を図るため、事業の共催等により交流機会の創出に取り組んだ。

表 36 (帯広畜産大学「産学官金連携交流会」の共催実績)

開催日	開催内容等	開催場所 参加者数
R6. 8. 29	産学官金連携交流会 mini ～アライグマ被害対策の最前線～	帯広畜産大学 63 名
R6. 9. 6	産学官金連携交流会 “大人のオープンキャンパス” ～気候変動と十勝の農作物～	帯広畜産大学 159 名
R6. 11. 25	産学官金連携交流会 mini ～適切な公共育成牧場運営を目指して～	帯広畜産大学 28 名

表 37 (INPIT 北海道知財総合支援窓口)

窓口対応の内容	相談内容/件数
一般社団法人北海道発明協会（札幌市）が運営する「INPIT 北海道知財総合支援窓口」の帯広サテライトが食品加工技術センターに設置されており、テレビ会議システムを通じて地域企業が同協会担当者に特設相談を行うことに係る窓口対応を担当した。	著作権及び商標登録に関する相談 1 件

## (4) 施設の管理運営

ものづくりに関する試験研究・技術支援を効果的に実施するため、技術支援施設（北海道立十勝圏地域食品加工技術センター、十勝産業振興センター）の保守管理、設備・機器の利用提供等を実施した。

これにより、施設の基本機能を十分に発揮し、利用者サービスの向上を図った。

## ①北海道立十勝圏地域食品加工技術センター（指定管理業務）

表 38 (施設利用件数)

年度	利用件数	内訳	
		機器等	研修室
R6	163	159	4
R5	157	154	3
R4	160	159	1

表 39 (施設利用時間)

年度	利用時間	内訳	
		機器等	研修室
R6	427	414	13
R5	464	446	18
R4	358	355	3

## ②十勝産業振興センター（財団所有施設）

表 40 (設備機器利用件数等)

年度	利用件数	利用時間
R6	51	259
R5	63	206
R4	57	156



表 41（十勝地域機械製品開発ツール普及促進事業）

年度	利用件数	備考
R6	0	委託者：帯広市 内容：3Dプリンタ・CAEツール等の 利活用促進・保守管理等
R5	7	
R4	9	

表 42（会議室利用件数）

年度	利用件数	内訳	
		大会議室	中会議室
R6	294	176	118
R5	332	175	157
R4	320	192	128

表 43（会議室利用人数）

年度	利用人数	内訳	
		大会議室	中会議室
R6	10,576	8,458	2,118
R5	10,417	7,957	2,460
R4	9,753	7,196	2,557

### 3. 事業創発支援（公益目的事業2）

#### （1）事業化の加速支援

十勝地域における創業・起業・事業創発を具体的に支援するため、地域の産業支援機関や事業者等との連携・協業（共創型支援）により、ビジネスプランの構築・強化や不足要素の補強支援等を実施するプログラム「トカチコネクション」を運営した。

これにより、地域で創出された「事業の種」を育成し、支援対象者の事業拡大・加速化を図った。

#### ①事業相談対応・講師派遣

表 44（事業創発相談件数）

年度	相談件数	相談内訳								
		起業 創業	新規 事業	人材 育成	商品 開発	販路 拡大	資金 獲得	知的 財産	地域 連携	その 他
R6	627	220	108	10	11	30	100	0	93	55
R5	524	120	67	15	21	51	97	3	107	43
R4	365	96	52	9	9	22	68	0	73	36

表 45（市町村別相談件数）

帯広	音更	士幌	上士幌	鹿追	新得	清水	芽室	中札内	更別
351	50	4	3	5	6	20	22	4	2
大樹	広尾	幕別	池田	豊頃	本別	足寄	陸別	浦幌	十勝以
2	7	16	8	2	4	2	2	1	116

表 46（市町村別相談事業者数）

帯広	音更	士幌	上士幌	鹿追	新得	清水	芽室	中札内	更別
161	20	2	3	4	2	8	13	3	1
大樹	広尾	幕別	池田	豊頃	本別	足寄	陸別	浦幌	十勝以
1	3	12	5	2	2	1	2	1	84

表 47（講師派遣実績）

区分	派遣日等	事業・セミナー	派遣地	派遣職員
講師派遣	R6. 6. 26	帯広畜産大学「とがち学～十勝のキーマンから学ぶ～」講義「十勝の事業創発支援の取組」	帯広市	山口 壮太
講師派遣	R6. 10. 29	JICA 研修 2024 年度（課題別）「アジア地域 フードバリューチェーン構築による地域アグリビジネス振興」コース 「とがち財団の事業創発の取組み ～とがちビジネスチャレンジ補助金について」	帯広市	植田 康裕

講師派遣	R6. 11. 26	JICA ウズベキスタン国別研修 2024 年度「クラスターアプローチによる産業クラスターの促進」コース 「十勝の産業振興」「『LAND』の成り立ち」「スタートアップ支援の取り組みや役割について」	帯広市	小田晃一郎
講師派遣	R7. 11. 28	帯広コア専門学校「十勝の産業支援の取り組み」	帯広市	山口 壮太
講師派遣	R7. 2. 26	幕別清陵高校 探究学習「ビジネスで課題を解決するって何？LAND で一緒に考えよう！」	帯広市	小田晃一郎
講師派遣	R7. 3. 18	北海道中小企業同友会とかち支部 農商工連携部会例会「とかち財団を知ろう！～LAND の取り組みを中心に～」	帯広市	高橋 司

## ②共創型支援による連携イベント等

### 【地域活性化ビジネス相談所「O-KISOU」】

十勝の起業家等に対するファイナンス機能を有する「合同会社コントレイル」等との協業により、起業・創業等に必要となる専門的アドバイスを行う地域活性化ビジネス相談所「O-KISOU」を開催した。

表 48 「O-KISOU」開催実績）

区分	内容
構成	主催：公益財団法人とかち財団 協力：合同会社コントレイル、帯広市
対象者	十勝地域で起業・創業を目指す者、新たな事業展開を目指す事業者
開催日	毎月第 2 火曜日（月 1 回の定期開催）
場所	LAND
参加可能枠	4 枠／月（相談時間：1 枠あたり最大 1 時間 30 分）
活動実績	① 令和 6 年度の対応件数：3 件（3 社） （参考：前年度 6 件[6 社]） ② 相談所開設（令和 3 年度）からの法人設立等の実績：通算 14 社（準備中 2 社） うち令和 6 年度：2 社 ・株式会社 ATHBASE（帯広市） ・P2U 株式会社（音更町）


### 【補助金って何？使ってみない？補助金説明会】

LAND を利用する地域事業者には各種補助金の情報を提供し、事業展開に有効活用してもらうことを目的に、北海道内の産業支援機関等による令和 6 年度の補助金事業等の情報を一元的に収集できる説明会を実施した。

十勝地域で主に女性に対する起業等の支援活動を実施している「十勝〇〇婦人部<sup>(※)</sup>」と共催し、同団体による補助金活用事例紹介を加えたことで、単なる各種補助金の情報発信に留まらず、有効活用のイメージ形成の促進を図った。

※十勝の女性起業家や様々なフィールドで活動する女性が集まり、起業支援セミナーや相談会等を実施することで、十勝で「自分らしく」働き、横の繋がりや支え合うコミュニティを作ることを目指して活動を行う団体。

表 49 (補助金説明会開催実績)

区分	内容
構成	主催：公益財団法人とかち財団 共催：十勝〇〇婦人部
対象者	補助金の活用を検討している十勝管内の事業者、個人事業主
開催日時	令和 6 年 4 月 19 日 15:00～17:40
場所	LAND
参加者数	46 名
活動実績	<div> <p>&lt;説明団体&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経済産業省北海道経済産業局</li> <li>・株式会社日本政策金融公庫</li> <li>・北海道十勝総合振興局</li> <li>・公益財団法人北海道中小企業総合支援センター</li> <li>・帯広市経済部商業労働課</li> <li>・帯広信用金庫</li> </ul> </div> 

#### 【Ezofrogs 連携イベント「地域課題解決アイデアソン・Ezofrogs 説明会」】

13～25 歳程度の北海道在住学生を対象に、約半年間の研修を通じてアントレプレナーシップを身に付ける人材育成プログラムを実施する「一般社団法人 Ezofrogs」と連携し、新たなアイデア創出を目的に地域課題解決アイデアソン<sup>(※)</sup>を共催した。

※アイデアソン：アイデアとマラソンを掛け合わせた造語で新たなアイデアの創出を目的とした短期間で実施するプログラム。プログラムは多様な参加者が設定された目的やテーマについて短期間でアイデアを出し合い、アイデアの優先順位の協議を実施して、具体化を見据えた採択を目指す。



表 50 (Ezofrogs 連携イベント開催実績)

区分	内容
構成	主催：一般社団法人 Ezofrogs 共催：公益財団法人とかち財団
対象者	地域課題解決に関心のある北海道の若年層
開催日時	令和 6 年 5 月 11 日 13:00～17:00
場所	LAND
参加者数	3 名（高校生 3 名）
活動実績	<div> <p>&lt;ゲスト登壇者&gt;</p> <p>株式会社 e-Combu 取締役 錦古里 大河 氏</p> <p>&lt;内容&gt;</p> <p>登壇者の講話を聴講した後、「〇〇×テクノロジー」をテーマに、地域課題解決に繋がるアイデアソンを実施した。</p> </div>

### 【Tokachi EGGs（トカチ エッグス）】

十勝の将来を担う若年層に対し、地域課題の解決を通じてビジネスの役割を理解してもらうとともに、起業への意欲を喚起することを目的に、高校生が企画運営する課題発見・解決プログラムを共催した。参加学生が発表した地域課題解決案の一部は、本プログラム終了後も実現に向けた活動を継続している。

表 51（Tokachi EGGs 開催実績）

区分	内容
構成	主催：CAN-PASS（高校生団体） 共催：公益財団法人とかち財団 協力：帯広市
対象者	十勝地域の高校生
開催日程	令和6年7月30日～8月2日（4日間）
場所	LAND、その他フィールドワーク各所
参加者数	16名
活動実績	<p>&lt;内容&gt;</p> <p>①地域課題の選定及びその解決に向けたフィールドワーク （第1日～第3日：4班に分かれて実施）</p> <p>②地域事業者による講話</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2日：立命館アジア太平洋大学 井上 琴乃氏</li> <li>・第3日：LINE ヤフー株式会社 右田 幹氏</li> </ul> <p>③フィールドワーク結果（解決案）の発表会（第4日）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

### 【帯広インデペンデンツクラブ】

ベンチャー企業の育成・支援を実施する「認定NPO法人インデペンデンツクラブ」と連携し、十勝地域の起業家の資金調達・提携先確保の支援を目的に、主催者が全国各地で実施するイベント（※）を共催した。

※上場を志向する起業家が「資金調達」「提携先獲得」「人材募集」等を目的に、ビジネスプランや事業モデルについてプレゼンテーションを行い、これを支援するサポーター（VC、金融機関、上場会社、監査法人、コンサル等）と意見交換・交流を図るイベント

表 52（帯広インデペンデンツクラブ 開催実績）

区分	内容
構成	主催：認定NPO法人インデペンデンツクラブ 共催：公益財団法人とかち財団 / 協力：帯広市

対象者	登壇者の事業内容に関心のある事業者
開催日時	令和6年8月22日 15:00～17:00
場所	LAND
参加者数	26名
活動実績	<p>&lt;登壇者&gt;</p> <p>①特別セッション「北海道の産学連携」          北海道大学 スタートアップ創出本部 副本部長 小野 浩之 氏          帯広畜産大学 産学連携センター 副センター長 東 陽介 氏          小樽商科大学 特任准教授 藤見 佳奈枝 氏          株式会社山忠 HD（音更町） 常務取締役 池内 幸介 氏          帯広信用金庫 地域経営サポート部 副部長 廣田 俊明 氏          株式会社エースクリーン（北見市） 代表取締役 中井 真太郎 氏</p> <p>②事業計画発表          株式会社スマヒロ（帯広市） 代表取締役 北川 宏 氏</p> <p>③スピーチ          環境大善株式会社（北見市） 代表取締役 窪之内 誠 氏          公益財団法人とかち財団 事業創発支援部 部長 赤間 仁</p>

#### 【北海道宇宙サミット 2024】

昨年に引き続き、十勝地域の関係機関・事業者とともに実行委員会を組成し、北海道における「宇宙版シリコンバレー創出」の機運を醸成することを目的としたビジネスカンファレンスの運営に参画した。

表 53（北海道宇宙サミット 開催実績）

区分	内容
構成	北海道宇宙サミット実行委員会 (構成員：大樹町、SPACE COTAN 株式会社、十勝毎日新聞社、当財団)
対象者	宇宙産業や新事業創出に関心の高い地域内外の事業者
開催日程	令和6年10月9日、10日
参加者数	カンファレンス出席者：約800名 オンライン配信（YouTube）視聴者：約1,300名
場所・内容	<p>第1日：大樹町・帯広市</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロケット射場ツアー（大樹町）</li> <li>・レセプション（帯広市）</li> </ul> <p>第2日：帯広市（会場：ベルクラシック帯広）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カンファレンス</li> <li>・ミートアップ</li> </ul> <p>※情報技術グループと共同で会場内の企業ブースに出展し、当財団の活動PRを実施 (参照：18ページ 表33)</p>

# 【KAIKON -開墾-】

新規起業や新規事業創出に向けた十勝事業者等の機運醸成を図り、地域内外の事業者同士の交流による十勝事業者の課題解決や協業といった新たな事業創発のきっかけを創出することを目的としたビジネスカンファレンスを開催した。



表 54（KAIKON 開催実績）

区分	内容
構成	<p>主催：公益財団法人とかち財団  共催：フードバレーとかち推進協議会、国立大学法人北海道国立大学機構帯広畜産大学、株式会社日本政策金融公庫、一般社団法人 AgVenture Lab  後援：総務省北海道総合通信局、農林水産省北海道農政事務所、北海道十勝総合振興局、STARTUP HOKKAIDO 実行委員会、独立行政法人中小企業基盤整備機構北海道本部、十勝地区農業協同組合長会、帯広商工会議所、帯広信用金庫、一般社団法人北海道中小企業家同友会とかち支部、NoMaps 実行委員会、EZOHUB</p>
対象者	十勝地域の事業者、域外の事業者、学生、支援機関、自治体担当者等
開催日時	令和6年10月16日、17日
参加者数	10月16日：KAIKON TOKACHI CARAVAN 36名 10月17日：カンファレンス 130名
活動実績	<p>10月16日：KAIKON TOKACHI CARAVAN  十勝の一次産業や地域資源を活用したビジネスの現場を巡るフィールドキャラバンを実施した。</p> <p>【視察先】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前田農産食品（本別町）</li> <li>・十勝しんむら牧場（上士幌町）</li> <li>・とかちフルーツビレッジ（音更町）</li> </ul> <div>  <p>[YouTube] アフタームービー</p> </div> <div>   </div>



活動実績	<p>10月17日：カンファレンス [会場：IN THE SUITE（帯広市）]</p> <p>参加者の事業成長へのマインドを刺激し、課題解決・連携協業等の様々な事業創発を生み出すことを目的として「キーンोटスピーチ」「トークセッション」「ピッチセッション」「ミートアップ」を実施した。</p> <p>①キーンोटスピーチ</p> <p>「思いこそが挑戦のはじまり。けれども思いだけではビジネスは作れない」</p> <p>登壇者：株式会社マザーハウス（東京都） 代表取締役副社長 山崎 大祐 氏</p> <div data-bbox="464 577 887 891">  </div> <div data-bbox="914 577 1340 891">  </div> <p>②トークセッション1</p> <p>「ローカル発、それぞれのビジネスストーリーと成長プロセス」</p> <p>登壇者：連続起業家・ビジネス教育研究家（香川県） 福山 敦士 氏</p> <p>株式会社 PECOFREE（福岡県） 代表取締役 川浪 達雄 氏</p> <p>株式会社ママのHOTステーション（音更町） 代表取締役 倉嶋 香菜子 氏</p> <p>モデレーター：事業創発支援部 事業創発グループ 主任 小田 晃一郎</p> <p>③KAIKON COLLABORATION PITCH（ピッチセッション：9社）</p> <p>登壇企業：amu 株式会社（宮城県） （登壇順） 株式会社 e-Combu（広尾町） アルプス技研グループ（神奈川県） 株式会社ソルプレーサ・イノベーションズ（清水町） クラフトバンク株式会社（東京都） 株式会社 PermaFuture（静岡県） 十勝シティデザイン株式会社（帯広市） 株式会社 PITTAN（兵庫県） とかちフルーツビレッジ（音更町） 株式会社 WAKU（岡山県）</p> <p>④トークセッション3</p> <p>「地域資源・課題×新事業～大企業は十勝をどう見ているのか？～」</p> <p>登壇者：石屋製菓株式会社（札幌市） 経営管理部 ゼネラルマネージャー 近藤 亜実 氏</p> <p>栗田工業株式会社（東京都） 事業開発第一グループ 部長 柳原 茂生 氏</p> <p>エア・ウォーター北海道株式会社（札幌市） インキュベーショングループ リーダー 棟方 祐介 氏</p> <p>モデレーター：事業創発支援部 事業創発グループ 課長 高橋 司</p> <p>⑤ミートアップ</p>
------	---



活動実績	 
	トークセッション
活動実績	 
	KAIKON COLLABORATION PITCH

【『1 階革命』 田中さんと語り合おう&LAND 大交流会】(当財団単独主催)

「1 階づくりはまちづくり」の理念の実現に向けて株式会社グランドレベルを設立し、LAND をはじめとする全国各地の様々な施設や空間、まちづくりのプロデュースを手がけている起業家 田中 元子 氏の講演会を開催した。

あわせて、LAND 利用者同士の交流機会を設けることにより多彩な創業・起業・事業創発の機会を創出することを目的とした異業種交流会を開催した。

表 55 (講演会・交流会開催実績)


区分	内容
開催日時	令和 7 年 1 月 17 日 16:30～19:30
場所	LAND
参加者数	40 名
活動実績	<p>&lt;講演会&gt; 登壇者：株式会社グランドレベル（東京都） 代表取締役社長 田中 元子 氏</p> <p>&lt;LAND 大交流会&gt; ①LAND からの取り組み紹介 ・ 共創型事業創発支援の実績紹介や取り組みの PR を行った。</p> <p>②参加者コーナー ・ 交流促進を目的に、1 分間で参加者が実施事業や取り組みを PR できる時間を設けた。</p>

活動実績	 講演会  交流会
関連事業 (講演会の 前日に開催)	<p>「芽室で一階革命を学ぶ」(令和7年1月16日 14:30～17:00)</p> <p>&lt;内容&gt; (参加者数: 22名)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サイト視察(芽室町内事業者8件[開設予定を含む])</li> <li>・ディスカッション「芽室の一階革命をみんなで考えよう」</li> </ul> <p>(会場: Memuro Unite Base)</p>  

【LAND ベンチャーゼミ「廃業経験から学ぶ、事業継続に必要なこと」】(当財団単独主催)

起業準備中や起業後5年程度の事業者における経営基礎力の向上を支援するため、起業者の経験談から「事業成長に必要なこと、気をつけるべきポイント」を学ぶセミナーを実施した。

表 56 (LAND ベンチャーゼミ開催実績)

区分	内容
開催日時	令和7年1月31日 18:00～19:30
場所	LAND
参加者数	9名
活動実績	<p>&lt;登壇者&gt;</p> <p>石川 亮太 氏 (元 コンステック株式会社 代表取締役)</p> <p>&lt;内容&gt;</p> <p>登壇者の「起業から廃業までの経験談」を共有するとともに、成功に至らなかった要因分析等を踏まえ、事業継続・成長のために必要な能力・知識、及び注意すべきポイントについて学習した。</p> 

### ③LAND サークル／十勝発学生ビジネスイベント「TOMOSHIBI ～灯し火～」

事業創発の持続性の確立に向けた若年層ビジネス人材育成の一環として、十勝地域の大学・短大・専門学校生を対象に、ビジネススキルやアントレプレナーシップの習得を図ることを目的とする学生コミュニティ「LAND サークル」を運営した。

あわせて、十勝管内学生の起業意欲を喚起し、若年層ビジネス人材を育成することを目的に、学生起業家奨学金の活動報告やLAND サークル生によるビジネスプランコンテスト等を一体化した学生ビジネスイベントを開催した。

表 57 (LAND サークル活動実績)

区分	内容
対象者	十勝地域の大学・短大・専門学校生
加入者数	26 名（帯広畜産大学 25 名、帯広高等技術専門学院 1 名）
活動実績	<p>①「キックオフイベント」【令和 6 年 5 月 1 日】</p> <p>内容：サークル活動の開始に際し、加入者間での活動趣旨の共有、ならびに対外発信を図るためのイベントを実施した。</p> <p>②「目的明確化プログラム ライフラインワーク」【令和 6 年 5 月 28 日～6 月 6 日】</p> <p>講師：株式会社リブアウト 代表取締役 田村 和広 氏</p> <p>内容：自分の関心分野や取り組みたいことが明確になっていないサークル生を主な対象として、自身のこれまでの体験を振り返ることで気づきを得る内省プログラムを実施した。</p> <p>③「ファーストピッチ（目標宣言会）」【令和 6 年 6 月 11 日】</p> <p>内容：サークル生が今年度（1 年間）に取り組みたい関心分野や具体的なアクションについて宣言・共有するピッチイベントを実施した。</p> <p>④「ビジネススキルアッププログラム」【令和 6 年 6 月 27 日～7 月 8 日】</p> <p>講師：株式会社リブアウト 代表取締役 田村 和広 氏</p> <p>内容：ビジネススキル向上のため「ビジネスモデル」「財務会計」「マーケティング」の基礎知識を修得するセミナー形式のプログラムを実施した。</p> <p>⑤「北海道情報大学（江別市）連携 地域課題解決プログラム」【令和 6 年 9 月 9 日～12 日】</p> <p>内容：北海道情報大学と連携し、ビジネススキルのアウトプットの場として、「ばんえい十勝（帯広市）」の課題を解決するビジネスプランを 4 日間で構築・提案するフィールドワーク型のワークショップを実施した。</p>







活動実績	<p>⑥「日本政策金融公庫連携 ビジネスプラン構築プログラム」 【令和6年10月19日】</p> <p>講師：株式会社日本政策金融公庫 釧路支店 中小企業事業統括 和田 裕介 氏</p> <p>内容：十勝発学生ビジネスイベント「TOMOSHIBI」におけるビジネスプランコンテストに向け、プランのブラッシュアップおよび収支計画のレクチャーを実施した。</p>																							
	<p>&lt;参考：LAND サークル生のアクション実績&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容 \ 年度</th><th>R5</th><th>R6</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外部プログラムへの参加</td><td>1 件</td><td>3 件</td></tr> <tr> <td>事業に関連した資格取得</td><td>1 件</td><td>2 件</td></tr> <tr> <td>イベント等への出展実績</td><td>2 件</td><td>5 件</td></tr> <tr> <td>事業実施</td><td>1 件</td><td>3 件</td></tr> <tr> <td>学生起業家育成奨学金への応募</td><td>0 件</td><td>3 件</td></tr> <tr> <td>起業（開業届提出・法人設立）</td><td>0 件</td><td>1 件</td></tr> <tr> <td>事業者等へのヒアリングの実施</td><td>11 件</td><td>33 件</td></tr> </tbody> </table>		内容 \ 年度	R5	R6	外部プログラムへの参加	1 件	3 件	事業に関連した資格取得	1 件	2 件	イベント等への出展実績	2 件	5 件	事業実施	1 件	3 件	学生起業家育成奨学金への応募	0 件	3 件	起業（開業届提出・法人設立）	0 件	1 件	事業者等へのヒアリングの実施
内容 \ 年度	R5	R6																						
外部プログラムへの参加	1 件	3 件																						
事業に関連した資格取得	1 件	2 件																						
イベント等への出展実績	2 件	5 件																						
事業実施	1 件	3 件																						
学生起業家育成奨学金への応募	0 件	3 件																						
起業（開業届提出・法人設立）	0 件	1 件																						
事業者等へのヒアリングの実施	11 件	33 件																						



表 58（TOMOSHIBI 開催実績）

区分	内容
構成	<p>主催：公益財団法人とかち財団</p> <p>共催：フードバレーとかち推進協議会、帯広畜産大学、一般社団法人ドット道東</p> <p>協力：一般社団法人 UPDATE EARTH、帯広大谷短期大学、帯広コア専門学校、帯広大谷高等学校大谷塾、星槎国際高等学校帯広学習センター、畜大ボランティア団体とことこあるこう、高校生団体 CAN-PASS</p> <p>後援：帯広市教育委員会、日本政策金融公庫、帯広信用金庫、帯広商工会議所、一般社団法人 AgVenture Lab、STARTUP HOKKAIDO 実行委員会、一般社団法人新雪、一般社団法人 Ezofrogs、NPO 法人北海道エンブリッジ</p>
対象者	十勝地域内外の大学・短大・専門学校生及び事業者等
開催日	令和6年12月21日 13:00～17:30
場所	平原通り小劇場（帯広市）



参加者数	71 名（学生 34 名、社会人 37 名）
活動実績	<p>①学生起業経験者によるキーノートスピーチ 登壇者：株式会社ディー・エヌ・エー（東京都） ソリューション本部 スポーツライブビジネス室 中山 美和 氏</p> <p>②学生起業家育成奨学金採択者ピッチ（今年度採択者 2 名の活動報告） 登壇者：帯広畜産大学 3 年 木原 淳兵 氏 北海道大学大学院 修士 1 年 齊藤 成輝 氏</p> <p>③TOMOSHIBI ビジネスグランプリ （LAND サークル生 8 名によるビジネスプランコンテスト） 登壇者：帯広畜産大学 1 年 菊池 悠斗 氏 （発表順）帯広畜産大学 1 年 鈴木 日菜 氏 帯広畜産大学 3 年 中原 葉南 氏 帯広畜産大学 3 年 大野 理人 氏 帯広畜産大学 3 年 野元 美海 氏 帯広畜産大学 1 年 宮本 彩名 氏 帯広畜産大学 3 年 山形 紫野 氏 帯広畜産大学 3 年 小倉 ことみ 氏</p> <p>④学生起業家 3 名によるゲストピッチ 登壇者：北海学園大学 4 年 盛 大地 氏 （株式会社 ICI（札幌市）代表取締役） 近畿大学 2 年 李 峻午 氏 （株式会社 PACES（神戸市）代表取締役） 関西学院大学 3 年 小菅 優衣 氏 （株式会社 Bestieat（神戸市）代表取締役）</p> <p>⑤協力団体 7 機関によるライトニングトーク（取り組み紹介）</p> <p>⑥ミートアップ</p> <div>    </div>

#### ④LANDSCAPE

事業創発促進を目的に十勝で新しい取り組みを進めている事業者や、十勝の事業者との協業に関心が高い首都圏企業の取り組みを取材・発信するウェブメディア「LANDSCAPE」をLAND 公式ホームページ内に設置し、インターネットを活用した情報発信に取り組んだ。

表 59（LANDSCAPE による事業者情報発信）

区分	内容
構成	主催：公益財団法人とかち財団 共催：フードバレーとかち推進協議会
記事公開数	65 件（うち令和 6 年度 16 件）
URL	<a href="https://land.or.jp/landscape.php">https://land.or.jp/landscape.php</a>
公開画面	 <p>The screenshot displays the LANDSCAPE website interface. On the left, there is a QR code and the text '公開画面' (Public Screen). The main content area shows a grid of featured articles. The largest article is titled '#61 十勝産素材使用のクラフトジンから始まる「人生に寄り添う」酒づくり。' (Craft gin made with local ingredients from Tencho, starting a 'sake-making' that accompanies life). It features a photo of Miyazaki Takayuki and mentions '株式会社十勝平野醤油所' (Jishohei Tenryo Shoyujo). To the right, there are four smaller article cards, each with a photo and a title, such as '#60 畜産を変革し、食の未来につなげていく' (Revolutionizing livestock production and creating a food future) featuring '佐々木 章哲さん' (Sasaki Akira).</p>

## (2) 補助金・奨学金の給付

### ①とちまちビジネスチャレンジ補助金

事業者による新たなチャレンジを支援するため、十勝地域の意欲的な事業者に対し、設立年数や取り組み内容に応じて補助金を支給した。

これにより、新たな価値創出に取り組む人材を育成するとともに、新事業や既存事業の拡大成長を図った。

表 60 (補助金募集・採択経過)

区分	内容
対象事業 (共通)	①新規事業構想の確立、新製品等の開発 ②事業の競争力・生産性向上 ③事業の拡大・成長（販路開拓等）
対象者 補助率 上限額	<b>【アーリーステージ】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者；設立5年以内の事業者（設立予定を含む）</li> <li>・補助率：10分の10（定額補助）</li> <li>・上限額：300万円</li> </ul> <b>【グロースステージ】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者；設立6年以上の事業者</li> <li>・補助率：3分の2</li> <li>・上限額：400万円</li> </ul>
募集期間	令和6年3月1日～4月8日
応募数	27件（アーリーステージ17件、グロースステージ10件）
選考 手続き等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選考委員会による選考 <ul style="list-style-type: none"> <li>一次選考（書類）：令和6年4月15日～26日</li> <li>二次選考（プレゼン）：令和6年6月4日・5日実施</li> </ul> </li> <li>・採択者説明会：令和6年6月18日実施</li> </ul>

表 61 (採択者4件：アーリーステージ2件・グロースステージ2件)

ステージ	事業者名	事業内容	補助額
アーリー	株式会社庭やたにぞえ (幕別町)	とちまち産活キクラゲ生産事業『ハコノコ』 の生産性向上と販路拡大の取組	2,977,885円
アーリー	株式会社 e-Combu (広尾町)	未利用昆布を活用した養鶏飼料用昆布粉 末の開発	3,000,000円
グロース	藤井農場 (芽室町)	十勝芽室町でのチャレンジ「落花生を新たな 産地へ」落花生収穫量増加に向けて	1,790,000円
グロース	株式会社おかげさま (帯広市)	宮大工の技で道産木材を使った木樽作り を実現する	2,730,400円



採択者のプレス発表 令和6年6月18日実施  
(採択者説明会と同時に実施)

## ②令和7年度「とかちビジネスチャレンジ補助金」説明会&令和5年度事業報告会

表 62 (事業報告会開催実績)

区分	内容
開催日	令和7年3月18日 16:30～19:00
場所	LAND
参加者数	35名
報告者	<p>【令和5年度補助金採択者：4名】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・株式会社スマヒロ 北川 宏 氏</li> <li>・株式会社 New Pan Hokkaido 長尾 裕樹 氏</li> <li>・株式会社十勝平野蒸溜所 宮澤 嘉裕 氏</li> <li>・株式会社なまら十勝野 小山 勉 氏</li> </ul> 

## ③学生起業家育成奨学金 (LAND 奨学金)

事業創発人材の持続的な育成を図るため、十勝地域で創業・起業・事業創発に将来取り組むためのビジネススキル習得を希望する学生に対し、奨学金を給付した。

これにより、創業等を目指す学生層の拡大を図り、起業家精神を持つ有能な人材の輩出を促進した。

表 63 (奨学金募集・採択経過)

区分	内容
対象者	十勝地域を拠点とした事業、または十勝地域の資源等を活用した事業で起業を目指す学生



給付額 給付期間	年間 20 万円（5 ヶ月間、月額 4 万円）
募集期間	令和 6 年 3 月 4 日～4 月 17 日
応募数	8 件
選考 手続き等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選考委員会による選考 一次選考（書類）：令和 6 年 4 月 24 日～5 月 15 日 二次選考（プレゼン）：令和 6 年 6 月 15 日実施</li> <li>・採択者説明会：令和 6 年 7 月 12 日実施</li> <li>・活動報告会：令和 6 年 12 月 21 日実施 ※「TOMOSHIBI」において実施（参照：32 ページ 表 58）</li> </ul>

表 64（採択者 3 名）

氏名	所属	ビジネスプラン名・概要（採択時）
木原 淳兵	帯広畜産大学 畜産学部 3 年	「畜大牛乳配合のシアバターハンドクリーム」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガーナのシアの木から採取される「シアバター」を輸入し、そのシアバターと畜大牛乳を活用してハンドクリームの開発及び販売を目指す。</li> </ul>
齊藤 成輝	北海道大学 大学院 修士 1 年	「どさんこプラネット」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地方の実店舗を 3D 空間上に再現したバーチャル店舗の開発及び運営を目指す。</li> </ul>
シリヤー・ トライチョーク (給付辞退)	帯広畜産大学 大学院 博士 2 年	「Agri-Link Tokachi : ファーム&フーディーアドベンチャー」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・十勝地域の「食」と「観光」を紹介することを目的とした「Tokachi journey box」の制作および販売を目指す。</li> </ul>



令和 6 年度学生起業家育成奨学金採択者ピッチ（活動報告）

令和 6 年 12 月 21 日実施

（十勝発学生イベント「TOMOSHIBI」において実施）

### (3) 施設の管理運営

事業創発支援を効果的に実施するため、事業創発支援施設（十勝事業創発支援センター「LAND」）の保守管理及び設備の利用提供等を実施した。

これにより、施設の基本機能を十分に発揮し、利用者サービスの向上を図った



表 65（利用者数・ビジネスサービス登録件数）

年度	利用者数	内訳					ビジネスサービス登録件数
		仕事	相談	打合せ	イベント	その他	
R6	5,143	2,662	389	1,083	943	66	23
R5	4,828	2,193	324	1,110	1,133	68	21
R4	4,215	1,653	223	1,242	1,001	96	22
【参考】開設（令和元年8月）からの累計利用者数 23,909 人							

※会議室等の専有使用に際し、当財団の支援対象となる事業を有しているかを事前に確認するため、使用者（ビジネスサービス）登録制度を導入している。

表 66（ビジネスサービス登録関連サービス）

実施内容
<p>(1) 住所レンタルサービス：10 社</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・LAND の住所を事業拠点として名刺やホームページ等に表示することができるサービス（法人登記、開業住所、口座開設等への利用は不可）</li> </ul> <p>(2) 郵便物受取サービス：10 社</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・LAND にて郵便物の受取を代行するサービス（郵便物の到着後、受付にて連絡・保管・引渡を行う）</li> </ul>

表 67（ホームページ・SNS による情報発信）

区分	内容
ホームページ	<a href="https://www.land.or.jp">https://www.land.or.jp</a> R6.4.1～R7.3.31 のアクセス数 83,287 回
facebook	<a href="https://www.facebook.com/LAND.tokachi/">https://www.facebook.com/LAND.tokachi/</a>
X (旧 Twitter)	<a href="https://twitter.com/LandTokachi">https://twitter.com/LandTokachi</a>
Instagram	<a href="https://www.instagram.com/land.tokachi/">https://www.instagram.com/land.tokachi/</a>
YouTube	<LAND チャンネル> <a href="https://www.youtube.com/channel/UCv6Z-_a1RT_dpWStlghqq-A">https://www.youtube.com/channel/UCv6Z-_a1RT_dpWStlghqq-A</a>



@land.tokachi



@LAND.tokachi



@LandTokachi



land.tokachi プロフィールを編集 アーカイブを表示

投稿1236件 フォロワー1056人 フォロー中344人

「LAND」スタートアップ支援スペース  
ローカルサービス  
LANDは、十勝発の新たなビジネスプランやアイデアを実現するためのオープンな空間です。見学目的から、お気軽にお越しください。  
コーディネーターによる事業相談を行なっている他、コワーキング利用も無料でお使いいただけます。... 続きを見る  
西2条南11丁目12番地1 天光堂ビル1階, Obihiro, Hokkaido 0800012  
@ land.or.jp

KAIKON-美... 十勝アグリ&... TokachiEGG... 農産2023 東北出張(様... TIP告知 トカチダネ

投稿 リール 保存済み タグ付けされている人

ご利用方法をご紹介します!

LAND見学デイ  
毎月第一火曜日  
12:15-12:45または17:00-17:30

道産食品  
オンライン  
個別商談会

「脱離革命」田中さんと語り会おう  
LAND大交流会  
2023.11.17 (土) 16:30-19:30

Open Innovation  
Challenge Pitch  
HOKKAIDO  
オープンイノベーションによる挑戦へ  
2024

## 4 収益事業

事業者等からの申込みによる受託事業を受け入れ、地域ニーズを幅広く反映させた技術力高度化等を図った。また、食品分野の技術ニーズに対応可能な評価事業（食品関連評価事業）を実施した。

表 68（主な受託事業一覧）

内容	
1	馬铃薯検査台車用駆動制御装置の開発

表 69（食品関連評価事業）

コース名	受入件数
賞味期限設定のための支援コース	4 件
味覚センサーを用いた味質評価コース	5 件

## 5 関係機関との連携・協力

産業振興を通じた北海道十勝地域の活性化に向け、大学や産業支援機関等と連携協定・業務協力協定を締結するとともに、関係機関との連携・協力を以下のとおり実施した。

### （1）国立大学法人北海道国立大学機構帯広畜産大学との連携協定締結について

表 70（協定内容）

締結日	協力事項
R6. 4. 18	<p>研究開発や技術支援による産業振興を推進するとともに、人材育成、産学官金連携活動など包括的に連携した取り組みを実施する。</p> 

(2) 独立行政法人中小企業基盤整備機構（中小機構）北海道支部・帯広市・帯広商工会議所との業務協力協定締結について

表 71（協定内容）

締結日	協力事項
R6. 8. 1 (中小機構北海道本部 帯広デスク開設日)	<p>十勝地域の中小企業・小規模事業者及び創業希望者（中小企業者等）への経営支援や有益な情報の提供等について相互に連携・協力する。</p> 

(3) 関係機関等が主催する会議等への参画・協力等

表 72（道内の関係機関が主催する会議等への主な参画・協力実績）

主催機関・事務局等	会議等の名称	備考
フードバレーとかち推進協議会（帯広市）	フードバレーとかち推進協議会	
帯広市	フードバレーとかち人材育成事業 運営委員会	
帯広市	帯広市産業振興会議	委員
帯広市	とかち観光誘致空港利用推進協議会	副会長
帯広市	十勝バイオガス関連事業推進協議会	幹事
帯広市、（一社）とかち地域活性化支援機構	帯広地域雇用創出促進協議会	監事
帯広商工会議所	とかちマルシェ推進協議会	幹事
帯広商工会議所	とかち創業支援ネットワーク会議	
帯広商工会議所等	とかち商工産業振興会議（とかちづくり会議）	オブザーバー

帯広信用金庫	とかち・イノベーション・プログラム運営協議会	
帯広畜産大学	スクラム十勝	
帯広畜産大学	帯広畜産大学地域連携フェロー	フェロー委嘱2名
帯広畜産大学	人体及びヒト試料研究倫理審査委員会	委員
帯広畜産大学	学生と地域がつながるまちづくり支援事業運営会議	構成員
十勝農業機械化懇話会	十勝農業機械化懇話会	
経済産業省北海道経済産業局	北海道地域産業技術連携推進会議	
北海道	北海道科学技術審議会「地域懇談会」	
北海道	ものづくり技術支援ネットワーク会議	
北海道	十勝地域中小企業支援ネットワーク	
(地独)北海道立総合研究機構	北のものづくりネットワーク会議	
(公財)北海道科学技術総合振興センター	北海道技術振興連絡協議会	
(公財)北海道科学技術総合振興センター	チャレンジフィールド北海道(産学融合拠点創出事業)	
(NPO) グリーンテクノバンク	広報誌「グリーンテクノ情報」編集委員会	委員

## 6 管理運営事項

### (1) 理事会

#### ①第1回

開催日	令和6年6月5日(水)
開催場所	十勝産業振興センター 大会議室
出席者	11名(理事9名、監事2名)
報告事項	1. 令和6年度事業経過報告(第1回)について
決議事項	1. 就業規則の一部改正について 2. 令和5年度事業報告及び決算の承認について 3. 評議員会の開催について

上記事項について了承・決議された。

#### ②第2回

開催日	令和6年11月29日(金)
開催場所	十勝産業振興センター 大会議室
出席者	11名(理事9名、監事2名)
報告事項	1. 令和6年度事業経過報告(第2回)について
決議事項	1. 就業規則の一部改正について 2. 評議員会の開催について

上記事項について了承・決議された。

#### ③第3回

開催日	令和7年3月3日(月)
開催場所	十勝産業振興センター 大会議室
出席者	9名(理事7名、監事2名)
決議事項	1. 就業規則及び育児・介護休業等に関する規則の一部改正について 2. 令和7年度事業計画及び収支予算について 3. 理事、監事、評議員選考委員会の委員予定者について 4. 評議員会の開催について

上記事項について了承・決議された。

#### ④第4回(定款第34条に基づくみなし決議)

決議があったものとみなされた日	令和7年3月18日(火)
決議事項	1. 株主議決権の行使について 2. 給与規則及び契約職員に関する給与規則の一部改正について

上記事項について決議された。

#### ⑤第5回(定款第34条に基づくみなし決議)

決議があったものとみなされた日	令和7年3月31日(月)
決議事項	1. 評議員会の開催について 2. 給与規則の一部改正について

上記事項について決議された。



(2) 評議員会

①第1回（一般法人法第194条に基づくみなし決議）

決議があったものとみなされた日	令和6年4月15日（月）
決議事項	1. 理事の選任について

上記事項について決議された。

②第2回：定時評議員会

開催日	令和6年6月21日（金）
開催場所	十勝産業振興センター 大会議室
出席者	11名（理事9名、監事2名）
決議事項	1. 令和5年度事業報告及び決算の承認について

上記事項について了承・決議された。

③第3回（一般法人法第194条に基づくみなし決議）

決議があったものとみなされた日	令和6年12月12日（木）
決議事項	1. 評議員の選任について

上記事項について決議された。

④第4回（一般法人法第194条に基づくみなし決議）

決議があったものとみなされた日	令和7年3月14日（金）
決議事項	1. 理事、監事、評議員選考委員会の委員予定者について

上記事項について決議された。

(3) 行政特別委員会（書面開催）

委員構成	十勝地域19市町村の行政機関担当者等
完結したものとみなされた日	令和7年2月17日（月）
議題	1. 令和6年度事業経過報告について 2. 基本財産等の状況について 3. 令和7年度事業計画（案）について 4. 令和7年度運営負担金について 5. 委員会の今後の実施形態（変更案）について

上記事項に関する報告・協議を行い、その内容について了承された。

(4) 資産運用委員会（書面開催）

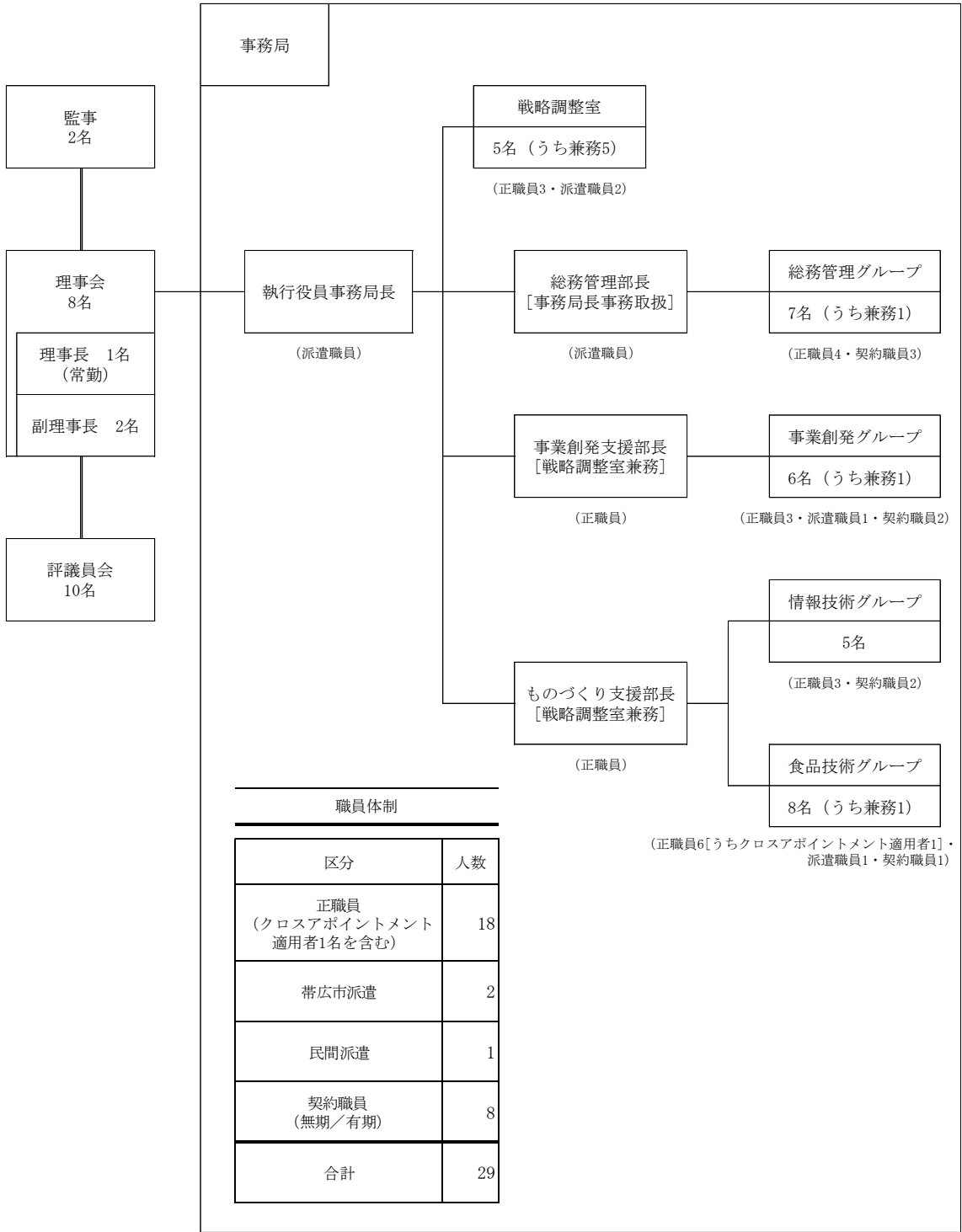
委員構成	理事・評議員のうち理事長が指名する3名
完結したものとみなされた日	令和7年2月3日（月）
報告事項	1. 資産運用の状況について
協議事項	1. 今後の資産運用について

上記事項に関する報告・協議を行い、その内容について了承された。

以 上

＜参考＞ 令和6年度末日（令和7年3月31日）時点の組織体制・役職員の状況

(1) 組織図・役職員数



## (2) 役員等一覧

＜理事＞ 任期：2年（令和7年度定時評議員会の完結まで）

区分	氏名	所属・役職等	備考
理事長	金山 紀久	常勤（元 帯広畜産大学 理事・副学長）	
副理事長	米沢 則寿	帯広市 市長	
副理事長	川田 章博	帯広商工会議所 会頭	
理事	渡邊 信之	株式会社アルプス技研 代表取締役会長	
理事	高橋 常夫	帯広信用金庫 理事長	
理事	竹中 貢	十勝町村会 会長	
理事	長澤 秀行	帯広畜産大学 学長	
理事	野口 正浩	北海道十勝総合振興局 局長	

（故 有塚 利宣 氏〔前 十勝地区農業協同組合長会 会長〕ご逝去に伴い令和7年1月18日をもって理事退任）

＜監事＞ 任期：4年（令和7年度定時評議員会の完結まで）

区分	氏名	現職等	備考
監事	山田 政功	十勝農業機械協議会 会長	
監事	和田 賢二	株式会社山正 代表取締役	

＜評議員＞ 任期：4年（令和7年度定時評議員会の完結まで）

区分	氏名	現職等	備考
評議員	石橋 武	株式会社アルプス技研 業務執行役員 経営企画部長	
評議員	石橋 強	北海道十勝管内商工会連合会 会長	
評議員	井原 久	東北海道木材協会 会長	
評議員	梶原 雅仁	十勝観光連盟 会長	
評議員	亀田 元教	十勝管内漁業協同組合長会 会長	
評議員	佐藤 光輔	株式会社北洋銀行 執行役員 帯広中央支店長	
評議員	鈴木 雅博	十勝農業協同組合連合会 代表理事会長	
評議員	寺嶋 義信	一般社団法人帯広消費者協会 専務理事	
評議員	萩原 一利	一般社団法人帯広建設業協会 会長	
評議員	林 隆義	有限会社林製パン工場 代表取締役	